

2024 年度 宮城野親子で料理プロジェクト活動報告書

(1) 助成事業の目的

地域のコミュニティーセンター等を活用し料理教室を中心とした食育活動を開催。主に、宮城の食文化、日本料理の伝統技術、野外調理や災害時調理を親子がともに学べる活動を実施する。また、農地にて『農作業体験』も併せて行い、『食材の成り立ち』を含めた、複合的な食育力の向上を支援し、仙台市を中心とした『子育て』に関わる個人並びに団体の、相互交流を促進する非営利の活動を行い、主に調理等の活動を通して、『こどもの健全育成』・『親子の触れ合いによる家族の絆の構築』を支援する。

特に今年度は『こども食堂』等と連携し、“低所得家庭のこども達”に対して『生まれた環境に左右されない』平等な食育教育が受けられるための手立てを構築・提供して、周辺地域の子供たちへ多くの食育の学びの機会を提供していく。

(2) 助成事業の内容

活動日	実施イベント・活動	参加人数
4/28	春のお魚を知ろう! 捌こう! 味わおう! ・港町塩釜で親子で参加できる低額の『旬の魚』を使った食育活動の実施	26 名
5/18	宮城米の田植え体験!さつま芋植え付け体験! 仙台味噌豚汁・みやぎ野菜カレーの昼食 ・県内の子ども食堂利用家族を対象とした無償の農食育体験活動を実施	49 名
6/15.16	震災復興農地での梅ブルーベリー & 野菜収穫体験 ・県内の子ども食堂利用家族を対象とした低額の農食育体験活動を実施	41 名
6/23	野外で調理体験!流しそうめん☆石窯ピザ☆串うち BBQ を親子でしよう!! ・おろしのまちこども食堂さんとの共催企画 無償の食育企画の提供	73 名
6/30	旬のお魚を知ろう! 捌こう! 味わおう!寿司を握ってみよう☆ ・港町塩釜で親子で参加できる低額の『旬の魚』を使った食育活動の実施	44 名
7/7	畑で育てた大和イモで『和菓子』をつくろう! ・宮城野こども食堂さんとの共催企画 無償の和菓子食育企画の提供	28 名
7/21	こども夏祭り企画☆子ども店長になって職業体験企画をしよう☆ ・県内 14 か所のこども食堂利用者を対象とした低額の職業体験企画の実施	77 名
8/24.25	夏野菜収穫体験をしよう!震災復興跡地で果物収穫体験をしよう! ・福室こども食堂さんとの共催企画 無償の農育企画の提供	38 名
9/8	夏野菜収穫体験をしよう!震災復興跡地で果物収穫体験をしよう! ・折立こども食堂さんとの共催企画 無償の農育企画の提供	46 名
9/29	夏野菜収穫体験をしよう!仙台の冬野菜を植えてみよう!芋煮 & BBQ をしよう! ・にこにこおやこ食堂さんとの共催企画 無償の農食育企画の提供	52 名
10/5	宮城米の稲刈り体験!さつま芋収穫をしよう☆ 仙台風いも汁・みやぎ野菜カレーの昼食 ・県内 11 か所のこども食堂利用者を対象とした低額の職業体験企画の実施	61 名
11/9	秋野菜収穫体験をしよう! 冬野菜を植えてみよう! 芋煮 & BBQ をしよう! ・いずみわくわくこども食堂さんとの共催企画 無償の農食育企画の提供	45 名
11/24	秋野菜収穫体験をしよう! 冬野菜を植えてみよう! 芋煮 & BBQ をしよう! ・県内 3 か所のこども食堂さんとの共催企画 無償の農食育企画の提供	32 名
12/1	畑で採れた『ミヤギシロメ』仙台大豆を使って味噌づくりをしよう☆ ・親子で参加できる低額の『仙台大豆』を使った味噌づくり、食育活動の実施	8 組
12/8	畑で採れた『ミヤギシロメ』仙台大豆を使って味噌づくりをしよう☆ ・親子で参加できる低額の『仙台大豆』を使った味噌づくり、食育活動の実施	9 組
12/15	畑で採れた『ミヤギシロメ』仙台大豆を使って味噌づくりをしよう☆ ・親子で参加できる低額の『仙台大豆』を使った味噌づくり、食育活動の実施	8 組
12/22	冬野菜収穫体験をしよう! 来年に向けた堆肥づくりにチャレンジしてみよう!ネギ汁をつくろう! ・たごっ子こども食堂さんとの共催企画 無償の農食育企画の提供	33 名
1/19	畑で食育!『仙台曲がりネギ』の収穫体験とハニーりんごづくりをしよう☆ ・親子で参加できる低額の農食育活動の実施	36 名

2/23	宮城のお魚を知ろう! 旬のマダラやマグロを捌こう! 味わおう! ・県内 3 か所のこども食堂さんとの共催企画 無償の食育企画の提供	31 名
3/20	冬野菜収穫体験をしよう! 春野菜を植えよう!ネギ汁 & トルネードポテトをつくろう!味わおう☆ ・県内 3 か所のこども食堂さんとの共催企画 無償の食育企画の提供	44 名

=その他=

☆上記未掲載の教室、イベント、共催企画を 13 回実施、また、

- ・こども食堂・保育園訪問食育または共同食育活動 5 回(折立・田子・福室子ども食堂・ひまわり園・白鳥幼稚園)
- ・市民センター等での地域食育講座 3 回(高砂市民センター・七郷市民センター・折立市民センター)
- ・低所得家庭の子ども向け個別食育体験 6 回(スイーツ教室、味噌仕込み教室等)
- ・スタッフ、ボランティアの知識、技術向上のための研修 9 回(長野・群馬・広島・山口・岡山・沖縄・岩手・宮城・栃木)等の活動も実施しました。

(3) 助成事業の結果・評価

1 年を通して 20 回の教室・イベントの他、こども食堂・保育園訪問食育または共同食育活動、市民センター等での地域食育講座、低所得家庭の子ども向け個別食育体験など様々な活動を合計 33 回も実施できました。20 回の教室では約 800 名程度、その他の活動には 300 名以上の方に食育活動に参加いただくことができ、県内でも最大級の食育活動の提供ができたと思っています。

今年度のテーマは“体験しながら宮城の『食』を学ぼう”とした通りに、どの活動でも子供たちに【調理】や【農作業】、【職業体験】等の“体験”をセットにした食育活動を提供したことで、子供たちの技術の向上が見られました。また、活動に使う食材を宮城県との歴史と関連付けた他、郷土料理を多く取り入れたことで“郷土愛”や“自分の育っている場所の名物”を学ぶ機会にもなり、親子で一緒に体験できた事で総合的な食育力の向上も図れたと思います。

副テーマには、『どんな環境の子供でも一律に『食の学び』を受けられる食育活動』を設けました。近年、親の経済格差にて“食育”の機会が減っているような家庭のこどもでも参加できるような無償または低額の食育活動を提供することができ、また、それらを地域のこども食堂さんと共同したことにより、食を通じた福祉力の向上を計れたとともに、食育活動のノウハウを地域のこども食堂さんにも伝えることができました。「普段の食事提供以外に料理教室や食育体験をしたいのだが予算もノウハウも人手も足りない」というこども食堂さんが多く、日々の食事支援以外の活動がなかなかできないという声が聞かれていたので、今年度の取り組みは大変好評であり、とても感謝されました。5 月の田植え・10 月の稲刈りで収穫したお米に関しても、近年の異常な米の値上がりがあったため、教室で使用するもの以外の団体保有分をすべて低所得家庭やこども食堂に配布することができ、この点も本年度の特異な評価点だと思います。

当団体のような子供への“食活動支援”をする団体がとても少ないため、当団体の存在価値がとてもあることにも気づかれました。また、既存のこども食堂さんでも当団体のような取り組みを今後したいという声が多く上がり、今年度 6 団体からの視察がありノウハウ等をお伝えすることができました。

活動後、毎回『LINE』を使い“活動を通しての感想”を聞くことを徹底し、参加家族の満足度や、今の生活での困りごと、子供の食を支援するために希望するもの、住んでいる地域の食支援の現状などを調査しました。その結果、今まで把握できていなかったことや、団体の想いと参加希望者の希望することのズレなども把握できたため、次年度以降の活動に反映させていくこととなりました。

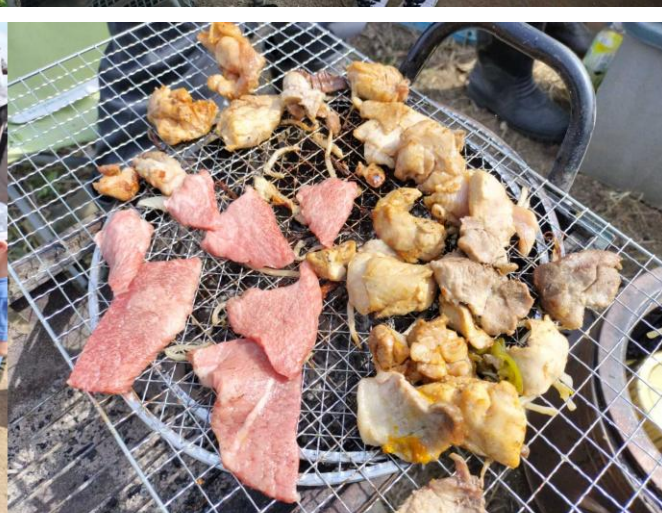
また、今年度は“研修”にとっても力を入れ、アフターコロナ後の取り組みに対しての再検証や新しい技術・活動・支援方法の取り組み、参加家族からのアンケートを基にした『参加家族の希望する活動』を実現できるようにするために県内外の同種支援団体や先進農家さんを訪問し様々な教訓を学ぶことができました。スタッフや主要ボランティアさんにも参加してもらうことで、日々の活動の質の向上や意識の向上、より深い、経験をもとにした指導ができるようになり、団体活動そのものの質の向上につながりました。そして、可能な限り各回に“専門講師”となる先生を依頼し指導してもらうこともできました。

結果、多くの子どもたちとその家族に『体験を通じた将来の財産につながる食育活動』が提供でき、ご協力いただいたボランティアの皆様や活動地域の皆様、講師の皆様により感謝申し上げます。



















研修↓

